

1. 人権が尊重され、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり
2. 良好な環境が整った、快適で安全・安心なまちづくり
3. 活力ある産業に満ちた、にぎわいあふれるまちづくり
4. 明日の彦根市を担う人を育(はくく)むまちづくり
5. 人とひととの交流をひろげ、市民文化を創造するまちづくり

財政の早期健全化を目指して 特集

彦根市の 平成20年度予算

平成20年度の一般会計の予算規模は、昨年度の当初予算と比べて、1.6%の増加となりました。

歳入では、雇用状況の改善により、個人市民税が伸びるとともに、固定資産税についても、新増築家屋が増えたことから、増収を見込んでいます。また、都市計画税については、税率を0.2%から0.3%に引き上げたことに伴い、市税全体としては、昨年度よりも、増加する見込みです。

しかし、国の歳出・歳入一体改革や滋賀県の「新たな財政構造改革プログラム」の影響を受け、国・県による財政支援は、さらに減少する見込みです。また、実質公債費比率が基準を大きく上回っているため、市債の新たな借入れを前年度の約1割減に抑え、市債残高の抑制に努めました。

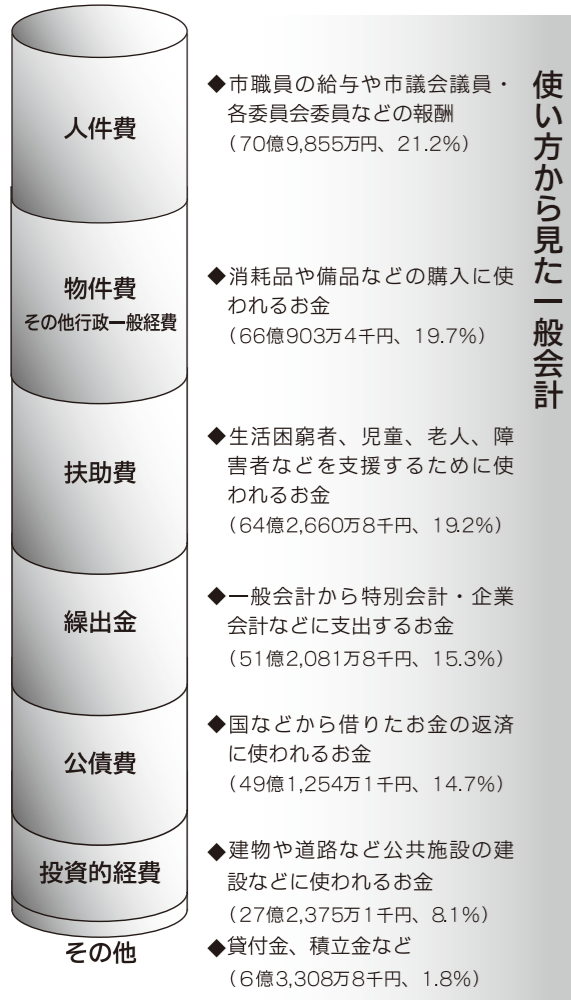
一方、歳出では、職員の退職補充を必要最小限にとどめたことによる人件費の抑制など、経常経費の徹底した節減・合理化を図りました。また、補助金についても、市の関与の必要性や補助率見直しなどを基に、補助金総額の削減を行います。

この特集では、平成20年度予算の概要と、主な事業を紹介します。

問い合わせ先 困財政課 ☎30-6107
番、FAX 22-13000番

予算総額 694億5,554万2千円 (前年度に比べて7.9%減少)

一般会計	335億2,439万円	(前年度に比べて1.6%増加)
特別会計	223億2,061万6千円	(前年度に比べて20.8%減少)
企業会計	136億1,053万6千円	(前年度に比べて4.3%減少)



特別会計

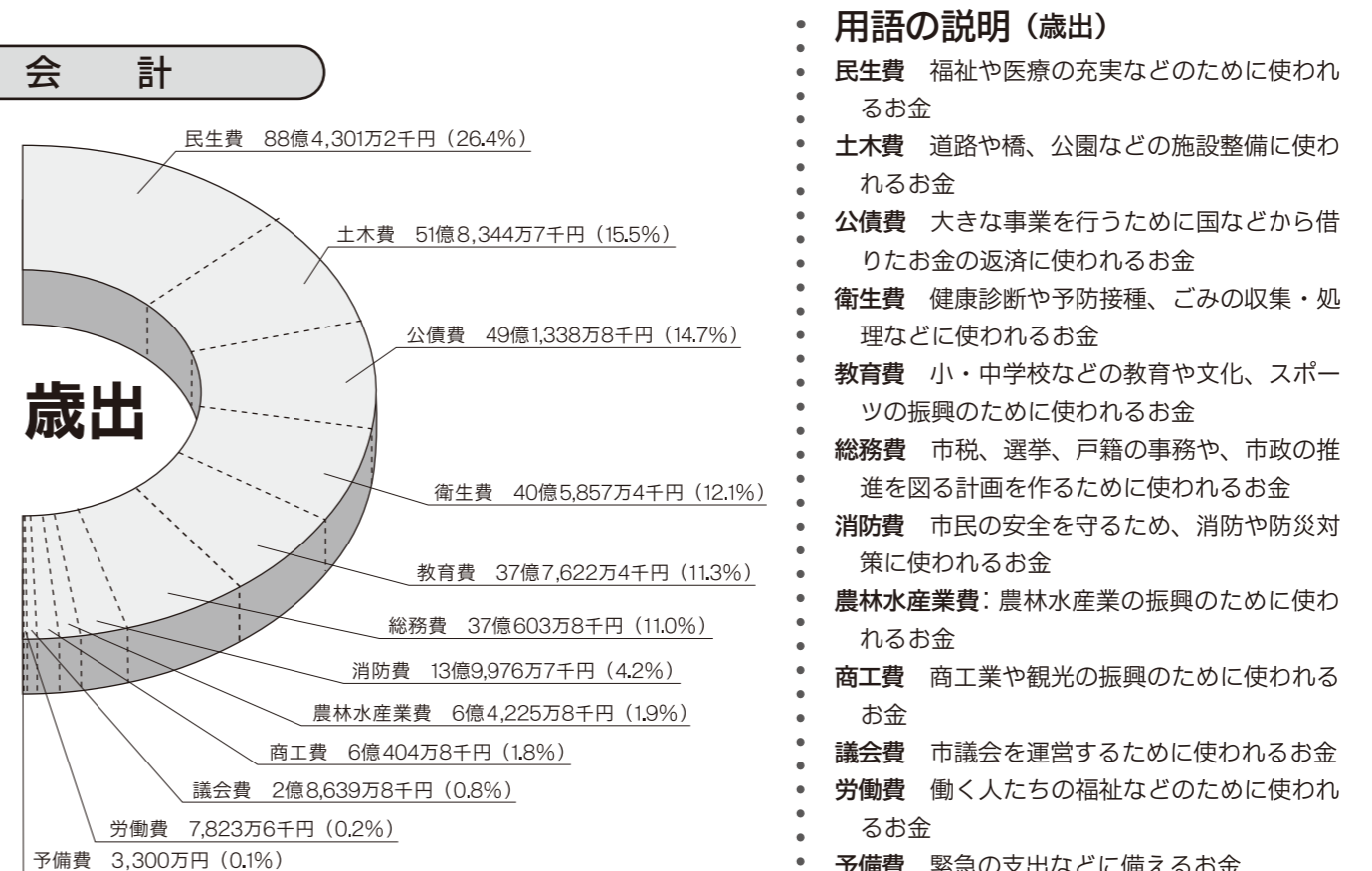
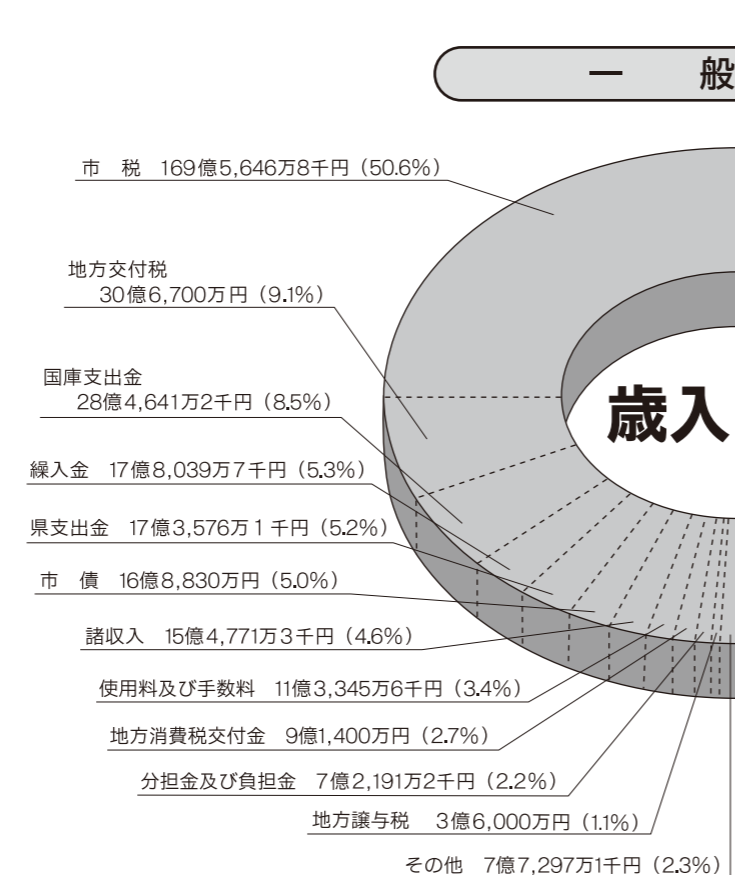
会計名	予算額	対前年度比
国民健康保険事業	91億6,955万4千円	+4.3%
観光事業		廃止
住宅新築ならびに改修資金貸付事業	2,130万5千円	-25.2%
下水道事業	58億7,716万2千円	-5.0%
休日急病診療所事業	4,882万円	+2.4%
老人保健事業	7億5,197万4千円	-89.9%
農業集落排水事業	2億8,311万4千円	+3.5%
介護保険事業	52億6,566万6千円	+7.5%
後期高齢者医療事業	9億302万1千円	新設

企業会計

会計名	予算額	対前年度比
病院事業	103億5,129万4千円	-1.8%
水道事業	32億5,924万2千円	-11.4%

用語の説明(歳入)

- 市税 皆さんから市に納めていただく税金
- 地方交付税 所得税など国が徴収した税金の中から、市の財政状況に応じて国から交付されるお金
- 国庫支出金・県支出金 特定の目的の財源として国・県から交付されるお金(補助金など)
- 繰入金 特定の目的のために積み立てているお金を取り崩して使うお金
- 市債 大きな事業を行うために国などから借り入れるお金
- 《平成20年度末残高見込額350億2,243万2千円》
- 諸収入 他の収入科目に含まれない収入(消防の受託事業収入など)
- 使用料及び手数料 施設の使用時や住民票などの証明書の交付時などに皆さんが納めるお金
- 地方消費税交付金 国が徴収した消費税の一部から市へ交付されるお金
- 分担金及び負担金 市が行う事業によって特に利益を受ける人や団体が納めるお金
- 地方譲与税 国が国税として徴収した税金のうち、地方に配分されるお金



用語の説明(歳出)

- 民生費 福祉や医療の充実などのために使われるお金
- 土木費 道路や橋、公園などの施設整備に使われるお金
- 公債費 大きな事業を行うために国などから借りたお金の返済に使われるお金
- 衛生費 健康診断や予防接種、ごみの収集・処理などに使われるお金
- 教育費 小・中学校などの教育や文化、スポーツの振興のために使われるお金
- 総務費 市税、選挙、戸籍の事務や、市政の推進を図る計画を作るために使われるお金
- 消防費 市民の安全を守るため、消防や防災対策に使われるお金
- 農林水産業費: 農林水産業の振興のために使われるお金
- 商工費 商工業や観光の振興のために使われるお金
- 議会費 市議会を運営するために使われるお金
- 労働費 働く人たちの福祉などのために使われるお金
- 予備費 緊急の支出などに備えるお金